

ふかがわ 市議会 だより

第2回臨時会(令和7年4月25日)

第2回定例会(令和7年6月17日～25日)

- ◆議会報告会を開催しました……………2～3P
- ◆可決した条例、補正予算など……………4～6P
- ◆議会運営委員・常任委員を選任……………7P
- ◆一般質問……………8～15P
- ◆広報編集委員が変わりました……………16P

No. 261 2025・8

発行 深川市議会 令和7年8月7日発行
編集 広報編集委員会



令和7年議会報告会の様子(令和7年6月3日開催)

議会報告会

委員会ごとの主な内容を報告します



下水道使用料

総務経済常任委員会

令和6年第4回定例会で議決した「深川市下水道条例の一部を改正する条例」の改正の主旨や議案審議における主な質疑と答弁について、宮澤孝司総務経済常任委員長から報告しました。

Q 水道料金の基本水量を見直しませんか？

下水道料金が26年ぶりに見直されましたが、将来に向けて、ぜひ考えていただきたいことがあります。水道料金は、使用水量が月に4立方メートル以下の家庭でも、8立方メートル分の基本料金が請求され、同じ水量の下水道使用料もかかります。特に高齢者など、使用水量が少ない方にとっては負担が大きいため、年金生活やアルバイト収入で暮らす方々にも配慮した料金体系を考えていただきたいです。

A 低所得者に配慮した基本料金について議論が必要と考えますので、委員会としての対応を検討します。



市の予算

予算審査特別委員会

令和7年第1回定例会で議決した各会計の当初予算のうち、令和7年度の新規・重点事業に関する主な質疑と答弁について、村上誠予算審査特別委員長から報告しました。

Q 中学校の新制服が導入された理由と、制服購入費用に対する助成金が3年間とされている理由は何ですか？

A 今回の新制服の導入は生徒からの要望などを踏まえ、各学校で協議し決定されました。LGBTQ（性的少数者）への配慮から、性別に関係なくブレザーを着用し、スラックスかスカートを選べるデザインとなっています。これにより、生徒が自分の意思で制服を選べるようになり、学校としては性別に関係なく個人の選択を尊重する方針です。新制服の導入に当たり、譲受け、リユースができない3年間は、市が制服購入費用の一部を助成しますが、3年経過後に助成金が継続されるかどうかは、まだ議論されていません。



議会報告会は、議会の活動を市民の皆さんに報告し、議会をより身近に感じていただくこと、そして、市民の皆さんと議員が直接対話し、寄せられた意見等を議会運営や市政に反映していくことを目的としています。コロナ禍などで開催を見送っていましたが、今回7年ぶりに開催し、当日は36人が参加され、貴重な御意見等を多数いただきました。

なお、議会報告会の詳細をまとめた報告書を市議会ホームページに掲載しています。



議会報告会

こども子育て

厚生文教常任委員会

令和7年第1回定例会で議決した「深川市こども子育て条例」の制定の主旨や議案審議における主な質疑と答弁について、田畑陽美厚生文教常任委員長から報告しました。

Q こども子育て条例では基本理念やこどもの権利、地域や市民などの役割が示されていますが、具体的にはどのような内容ですか？

A この条例は、こども子育て支援の推進とこどもの権利の尊重を目的としており、今後の市の施策にこどもの意見を積極的に取り入れていくことを方針としています。少子化が進む中、こどもを地域全体で育てていくという考えの下、市では「こどもまんなか応援サポーター」の募集を行い、見守りや声かけなどの協力を呼びかけています。また、社会福祉協議会ではボランティアによる「こども食堂」の開催なども行われています。条例ができたばかりの今は、具体的な行動を求める段階ではありませんが、地域社会全体でこどもを見守る意識を持っていただければと思います。



議会改革

議会改革特別委員会

議会運営や制度を見直し、より透明で効率的な議会を実現するために検討を進めている「議会基本条例の制定」「タブレット端末導入による議会のペーパーレス化」について、鶴岡恵司議会改革特別委員長から報告しました。

Q タブレット端末の導入経費はどれくらいですか？

全議員がタブレット端末を使えるように、講習などもしっかり取り組んでほしい。

A タブレット端末には機種によって価格差があり、最低限の性能を満たしつつ、できるだけ安価な機種を選ぶ方向で検討しています。導入予定は議員分14台、事務局分4台、予備1台の計19台で、端末代は安価なもので約115万円。また、システム使用料や導入経費として約100万円が見込まれます。先進地の事例では、定例会を重ねる中で自然と使えるようになったとのことで、導入後は講習などを通じてしっかり対応していく予定です。





こんなことを
審議し、決めました

条 例	補正予算※	人事案件	意見書	付議事件※
5件	2件	3件	6件	12件

※補正予算 年度当初の予算（当初予算）に、追加・その他の変更を加えるために提出される予算
※付議事件 本市議会だよりでは、議案のうち条例、補正予算、人事案件、意見書以外のものを付議事件としています。

～第2回定例会のあらまし～

6月17日開会の第2回定例会に提案された議案は、条例5件、補正予算2件、人事案件3件、意見書6件、付議事件として報告2件、工事請負契約の締結1件、財産の取得3件、専決処分の承認1件の合わせて23件でした。

うち、補正予算2件、人事案件3件、付議事件5件は、17日に全会一致で可決・同意・適任と答申・承認。また、17日は第1回定例会から継続審査としていた陳情第1号を賛成少数で不採択としました。

条例5件は、総務経済常任委員会の審査を経て、25日の最終日に全会一致または賛成多数で可決。また、25日は追加提案の意見書6件を全会一致で可決しました。

Pick Up

補正予算

J R 留萌本線代替交通、生きがい文化センターの在り方の検討に要する事業費を含む補正予算案を可決

全会一致

6月17日開会の第2回定例会において、J R 留萌本線廃線後の代替交通や、生きがい文化センターの今後の在り方に関する検討費用など、各事業費が計上された一般会計補正予算（第1号）を可決しました。事業の中から主なものを紹介します。

J R 留萌本線代替交通車両の 購入費用助成



総額 3,066万円

J R 留萌本線廃止に伴い、路線バス沼田線を代替交通として再編するに当たり、運行事業者である道北バス株式会社が路線バス車両を新たに2台購入するため、その購入費用に対し、沿線自治体でバス事業者に補助金を交付するものです。

生きがい文化センターの 在り方検討（専門家の招聘）



総額 644万円

生きがい文化センターの利活用の方策など、今後の在り方について検討していきます。この検討に当たっては、総務省の地域力創造アドバイザー制度を活用し、地域の活性化に関する知見やノウハウを有する外部専門家を招聘し、指導や助言を受けるものです。

【主な議案】

財産の取得（教職員用コンピ
ューター）
全会一致

平成30年度に購入した小中学校の教職員用コンピューターは、老朽化が著しく、現在使用している基本ソフトウェアのサポートが令和7年度で終了することから、185台のコンピューターを更新するものです。

財産の取得（令和7年度深川
市立小中学校学習者用コンピ
ューター等調達）
全会一致

文部科学省が掲げるGIGAスクール構想において、令和2年度に整備した児童生徒の学習者用コンピューター等が老朽化したことから、国の補助事業を活用し、予備機を含めた112台のコンピューターを更新するものです。

深川市都市農村交流センター
条例の一部を改正する条例
賛成多数

深川市オートキャンプ場設置
条例の一部を改正する条例
全会一致

両施設は開設以来、消費税額を除く利用料金の上限額を据え置いてきましたが、近年、光熱水費や人件費が急激に上昇していること、また、全国的に宿泊料金が上昇している現状を踏まえ、安定した施設運営の継続が可能となるよう、利用料金の上限額などを見直すものです。

教育委員会委員の任命
同意

倉本 茂子 さん

教育委員会委員 倉本茂子さんの任期満了に伴い、引き続き同氏を任命したいとの提案があり、全会一致で任命に同意しました。

公平委員会委員の選任
同意

松下 民男 さん

公平委員会委員 岡林佳廣さんの任期満了に伴い、新たに松下民男さんを選任したいとの提案があり、全会一致で選任に同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦
適任と答申

竹田 武志 さん

旭川地方法務局長から依頼がありました人権擁護委員の候補者として、竹田武志さんの推薦があり、全会一致で適任と答申しました。

市議会だよりに掲載しきれなかった案件はHPで確認できます。



議決結果

【意見書】

全会一致で可決し、内閣総理大臣等へ送付しました。

国内農業を犠牲としない日米関税交渉などを求める意見書

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

地方財政の充実・強化に関する意見書

義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書

2025年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

将来にわたり安全安心な医療・介護制度の提供を求める意見書

Appoint 議会運営委員・常任委員を選任

議員の任期は4年ですが、議会運営委員・常任委員の任期は2年であるため、6月25日の本会議で、下記のとおり後期の議会運営委員・常任委員を選任しました。

任期：令和7年6月25日～
令和9年6月17日（議員任期満了）



議会運営委員会

- 委員長 北村 薫
- 副委員長 山本 時雄
- 委員 村上 誠 伊藤美恵子 松本 雅祐

総務経済常任委員会

- 委員長 宮澤 孝司
- 副委員長 伊藤美恵子
- 委員 北村 薫 有働 正夫 新田 旺
松本 雅祐 佐々木一夫

厚生文教常任委員会

- 委員長 田畑 陽美
- 副委員長 村上 誠
- 委員 鶴岡 恵司 大前 昭代 山本 時雄
松原やす子

※近沢弘幸議長は、議長職に専念するため、議会の許可を得て厚生文教常任委員を辞任しました。

 賛否が分かれた議案		議員名（議席番号順）													議決結果 ▼	
		伊藤美恵子	新田 旺	有働 正夫	村上 誠	松原やす子	佐々木一夫	大前 昭代	田畑 陽美	北村 薫	近沢 弘幸	鶴岡 恵司	宮澤 孝司	松本 雅祐		山本 時雄
第2回臨時会	工事請負契約の締結について（深川市複合施設建設工事（建築主体工事））	○	○	○	○	●	●	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
	工事請負契約の締結について（深川市複合施設建設工事（強電設備工事））	○	○	○	○	●	●	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
	工事請負契約の締結について（深川市複合施設建設工事（空調換気設備工事））	○	○	○	○	●	●	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
第2回定例会	加齢による難聴者への補聴器購入に対する公的助成制度を求める陳情書	●	●	●	●	○	○	●	●	●	－	●	●	●	●	不採択
	深川市都市農村交流センター条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	●	●	○	○	○	－	○	○	○	○	可決

※賛成＝○、反対＝●、近沢弘幸議長は採決に加わりません。

Pick Up

陳情審査

加齢による難聴者への補聴器購入に対する公的助成制度を求める陳情書

令和7年第1回定例会において、陳情第1号「加齢による難聴者への補聴器購入に対する公的助成制度を求める陳情書」が厚生文教常任委員会に付託され、委員会を3月10日及び4月25日の2回開催し、慎重に審査を行いました。

この陳情の趣旨は、加齢性難聴が社会生活に支障を来し、認知症や鬱病の一因ともされていることから、補聴器の使用によって生活の質の維持、健康寿命の延伸、医療費の抑制につながるため、深川市独自の補聴器購入助成制度の創設を求めるものです。

委員会における審査の中で、「難聴は個人差が大きいため一律の対応が困難。助成制度の導入には、他市町村の動向や所管部署の検討状況を踏まえた総合的な判断が必要であり、現時点での採択は時期尚早と考えるため、本陳情は不採択とすべき」「補聴器購入助成は全国的に広がっており、深川市でも600筆の署名が提出されたことは重く受け止めるべき。加齢性難聴は今後深刻化が予想され、社会生活を支えるためにも支援体制の整備が求められることから、本陳情は採択すべき」などの発言がありました。

その後採決を行い、陳情第1号を賛成少数により不採択すべきものと決定し、令和7年第2回定例会初日の本会議においても、賛成少数により不採択とすることに決定しました。

賛成少数で不採択に決定

Pick Up

議会改革

議会のペーパーレス化に向けてタブレット端末導入を検討中

深川市議会では、議会運営の活性化や効率化、環境負荷の軽減を目的に、タブレット端末を活用したペーパーレス化を検討しています。6月30日には、ペーパーレス会議システムのデモンストレーションを実施し、導入に向けた準備を進めており、今後、年度内の導入を目指し、さらなる検討を重ねていきます。



会議システムのデモンストレーションの様子

第2回定例会で行った10人の議員の一般質問を紹介します。



おおまえあきよ
大前昭代 議員
「民主クラブ」

気象防災の専門知識向上を 災害対応する人材を育成

Q 気象防災アドバイザーを配置することで、より実践的な支援が可能となり、防災意識の向上や災害時の被害を最小限に抑える効果が期待される。こうした人材の育成に関する現状と今後の展望を伺う。

A 国や北海道などが実施する研修会への参加をはじめ、気象台によるワークショップ形式の災害対策本部訓練の実施、地域防災マネージャーである北海道職員を講師とした防災研修、さらに職員自主研修グループによる災害時の保健活動に関する継続的な研修などを通じて、災害時に適切な対応ができるよう研さんを重ねています。今後も様々な機会を活用し、災害対応に必要な人材育成に努めていきます。

保育園留学に対する市の考えは

Q 家族で田舎暮らしを体験しつつ、子供をその地域の保育園に通わせる保育園留学に注目が集まっています。既存事業を組み合わせることで、実施が可能と思われるが、この取組に対する市の考えを伺う。

A 保育園留学の実施に向けては、受入れ態勢の整備など既存事業の組み合わせ以外にも様々な準備が必要です。しかし、この事業は留学する子供ばかりでなく、受入先となる保育園等の園児の成長にとっても大きな刺激となるほか、保護者も一緒にその地域の文化や暮らしを体験することで、関係人口の創出や経済効果につながる可能性を秘めた事業と考えられるため、事業実施に向け検討を進める考えです。

気象防災アドバイザー：気象庁HP



保育園留学のイメージ
(親子カヌー遠足)



いとうみえこ
伊藤美恵子 議員
「民主クラブ」

ごみ減量化と資源ごみ回収 先進事例を調査研究する

Q 現在、小型家電や古着、大型スチール缶等は「燃やせるごみ」や「燃やせないごみ」として回収しているが、ごみの減量化とリサイクル率を向上させるため、資源ごみとして拠点回収できないか伺う。

A 現在、小型家電や古着、大型スチール缶等は「燃やせるごみ」や「燃やせないごみ」として回収しているが、ごみの減量化とリサイクル率を向上させるため、資源ごみとして拠点回収できないか伺う。

若手職員の離職を防ぐ働き方改革

Q 近年、40歳未満の若手職員の退職が増加傾向にあるが、ワークライフバランスの推進やライフ

と捉えています。制度の導入には、市民対応業務との両立や、勤怠管理の在り方、制度運用における公平性の確保など、様々な課題の整理と対応策の検討が必要となりますので、他自治体の先行事例や運用実態を参考に、慎重に研究したいと考えています。

紙等資源ごみの出し方：市HP



まつばら
こ 原やす子 議員
「日本共産党」

資格確認書の交付について 国の見解等に基づき交付

Q 東京都渋谷区や世田谷区は、マイナ保険証の有無にかかわらず、国民健康保険の加入者に資格確認書を一律発送する方針を示した。深川市においても同様の対応を行う考えがあるか、市の見解を伺う。

A 後期高齢者医療制度の加入者には、市町村窓口に資格確認書の交付を求める方が集中する懸念から、マイナ保険証の有無にかかわらず資格確認書を暫定的に交付するよう国から通知されています。一方、国民健康保険は、一律交付する状況にはないとの見解が示されており、資格確認書の作成経費等も考慮し、本市

では、マイナ保険証を保有していない被保険者に限り資格確認書を交付する考えです。

仮想空間による不登校支援の考えは

Q 日本共産党が発表した不登校対策の提言では、子供の居場所が重視されている。北海道教育委員

教育行政執行方針
：北海道教育委員会HP

〇〇市教育委員会 国民健康保険 資格確認書	有効期限 年 月 日 発給日 年 月 日
氏名	性別
生年月日	発給区分
資格取得年月日	交付年月日
保険証番号	
交付署名	

資格確認書のイメージ



さ さ き かず お
佐々木一夫 議員
「れいわ新選組」

市長の自己処分について

一部事務組合で答える内容

Q 市長は、北空知衛生センターの施設修繕に関する不適切な事務処理では責任を認め自己処分を課したが、元消防長の横領金の債権放棄については自己処分を行わないのか。その基準と倫理観は何か。

A この質問内容は、深川市の行政事務に対する

Q 公務中に公用機器を使った贈収賄問題・虚偽

報告の放射線課管理職は訓告と厳重注意で、管理職ではない職員が私生活での軽度な違反が厳罰の懲戒では、処分の公平性を定める地方公務員法違反では。

A 診療放射線課管理職の関係は、これまでも虚偽報告や事実の捏造を行ったとは捉えていないと

性を比較すべきものではないと考えます。なお、質問の中で贈収賄問題との表現がありますが、刑事訴訟法に基づく刑事告訴義務の対象となる犯罪とは考えておらず、そのような司法判断も下されていないと認識しています。



深川市立病院



むらかみ まこと
村上 誠 議員
「公政クラブ」

市内高校への進学者確保を支援の見直しを進める

深川西高校・深川東高校の魅力づくりへの支援：市HP



深川西高校・深川東高校

Q 市内公立高校への進学者数の確保に向け、公立高等学校の魅力づくり事業が継続されている。志望者の増加を図るには、進学クラスの設置など、もう一歩進めた施策が必要と思うが、市の考えを伺う。

A 進学クラスの設置については、関係者からハ

Q 今後、小麦や大豆の増産が計画されている中、既存の小麦・大豆乾燥調

製貯蔵施設では処理能力、貯蔵能力の不足が懸念されている。JAきたそらちの施設増設の検討に対する市の考えを伺う。

います。その中で、JAきたそらちの施設増設の検討については、どういった施設整備を行うのか注視するとともに、これらの整備に必要不可欠な国費の活用に向けた、JAきたそらちと十分連携を図りながら、関係機関等と協議を進めていく考えです。



た ば は る み
田畑陽美 議員
「民主クラブ」

新庁舎周辺整備後の活用はにぎわい創出に向け利活用

Q 新庁舎及びその周辺の整備が進んだ現在、庁舎敷地内での市主催イベントの開催や、地域主催イベントの会場として貸し出すなど、にぎわい創出の場としての活用も有効と考えるが、市の見解を伺う。

A 新庁舎正面の駐車場は、来庁者の安全を確保

Q 若者や子育て世代が地域で活躍できるまちづくりには、柔軟な発想や時代の変化に即した暮ら

A 昨年実施した中高生タウンミーティングを参考に、今年度も子供たちの意見を聞く場を設けるべく準備を進めています。こうした取組は、国や北

市役所敷地の使用について：市HP



整備を完了した新庁舎の周辺環境

海道でも積極的に行われており、本市においても、将来の子育て世代となる子供たちや若者の声を聞く機会を確保するとともに、その意見等の反映方法について検討を重ね、若者がまちづくりに関わっていると実感できる環境づくりに努めています。



あきら
新田 議員
「民主クラブ」

民間主導イベントに支援を 特色活動をできる限り支援

◎ まちづくりに関する支援事業の多くは、収益を伴う取組が対象外とされている。地域振興につながるものであれば、収益性の有無にかかわらず積極的に支援すべきと考えるが、市の見解を伺う。

利益を伴う事業は公金支出の公平性や公正性を確保する観点から原則対象外とされており、市内で開催される多種多様なイベントに対する助成についても同様に対応していません。今後も開催目的や地域への波及効果など様々な要素を総合的に考慮しながら、地域の皆様が

取り組む特色あるイベントが継続・発展できるように可能な範囲で支援に努めます。

コウノトリ応援プランの見直しを

◎ 今後さらに安心して妊娠・出産ができるまちづくりを進める上で、子育て初期における経済的

負担の大きさや、昨今の物価高騰の状況を踏まえ、交付金額の見直しが必要と考えるが、市の見解を伺う。

◎ 物価高騰による子育て世帯の家計への負担は大きいと承知していますが、令和4年度に見直した交付額は他の自治体と比較しても高水準である

妊娠・出産応援交付金事業：市HP



ことから、現状は交付額を見直す考えには至っていません。子育て世代の支援に関しては、7年度から事業を拡充した宿泊型及び日帰り型の産後ケア事業など、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援により、今後も安心して子育てできる環境づくりに努めていきます。



どうまさお
有働正夫 議員
「公政クラブ」

農作業中の事故について 安全意識の向上に努める

◎ 毎年、農作業中に多くの事故が発生しており、子供たちが巻き込まれる痛ましいケースも少なくない。こうした事故を一件でも減らす必要があるが、農作業事故の発生状況と啓発活動の考えを伺う。

17件、6年に29件発生しており、そのうち入院は4年の1件のみで、死亡事故はありませんでした。本市では、毎年春と秋に深川警察署とJAきたそらちが連携して啓発チラシを作成し、生産者の皆様に配付しているほか、市内関係団体へ農作業安全ポスターの掲示を依頼

するなど、安全意識の向上に努めており、引き続きより効果的な取組を検討していきます。

就労支援のための農福連携について

◎ 農福連携に対して関心があり、協力したいという思いはあるが、業務内容によっては実際に関

わることが難しい面もある。どのような関わり方が可能か、農福連携の状況や今後の進め方について伺う。

◎ 農福連携は、就労支援事業所などと連携し、JAきたそらちや生産者の現場で行う施設外就労と生産者からの委託による施設内就労を実施して

農作業安全対策：農林水産省HP



います。これは、農業労働力の確保と障がい者の就労意欲の向上等につながる重要な取組ですが、指導員の不足により施設外就労の対応に限界があるといった課題もあります。今後も農福連携懇談会などを通じて情報共有を図り、関係者と連携して推進していきます。



みやざわたかし
宮澤孝司 議員
「令和公明クラブ」

更新後の旧端末の活用は 計画に基づき再利用・処分

◎ 小中学生に貸与されている学習用端末の更新に伴い、使用済み端末は各学校にて学校長や外部支援員、PTA活動、図書館、公民館などで活用されている。これらの端末の利活用に対する考えを伺う。

分の対象となるGIGAスクール端末は1183台あります。GIGAスクール端末の取扱いに関する国からの通知を踏まえ、旧端末の活用については、学校での授業や公共施設において、可能な限り再利用を検討していきます。また、再利用が困難な場合は、個人情報

漏えい等が発生しないよう関連法令に基づき、適切に処分を行ってまいります。

ふるさと納税ポイント廃止について

◎ ふるさと納税で付与されていたポイント制度が、10月1日をもって廃止となる。この背景には

ポイント付与をめぐる過度な競争、返礼品の不適切な宣伝広告などがあるが、制度廃止による影響を伺う。

◎ 寄附と連動したポイントの還元・付与が原則廃止されることによる、ふるさと納税制度への影響として、ポイントが付与される令和7年9月ま

ICTを活用した教育の推進：市HP



タブレット端末を使用した授業風景

でに寄附を済ませようとする駆け込み需要が発生する可能性があると考えています。ただし、制度全体の魅力が大きく損なわれるものではないと考えますので、引き続き寄附者に喜ばれる魅力ある返礼品の提供と深川市の魅力発信に努めていきます。

掲載以外の質問項目

質問内容は、深川市議会YouTubeチャンネルやホームページの一般質問通告表で確認できます。

深川市議会
YouTube
チャンネル



一般質問
通告表



■大前 昭代 議員

- ・高齢者向けシェアハウスについて
- ・外国人材受入れ状況について

■伊藤美恵子 議員

- ・二地域居住の推進について
- ・生成AIの行政事務への活用状況について

■松原やす子 議員

- ・こども誰でも通園制度について

■佐々木一夫 議員

- ・米問題について
- ・自治体情報システム標準化・共通化について
- ・拓殖大学北海道短期大学の深川市からの転出問題について
- ・深川市複合施設建設工事の地域限定一般競争入札に係る共同企業体の扱いについて
- ・ごみ処理手数料について
- ・アンダーパスの雨水排水等について

■田畑 陽美 議員

- ・空き家対策について
- ・婚姻届について

■新田 旺 議員

- ・地域活性化起業人制度について

■有働 正夫 議員

- ・熱中症対策について
- ・空き店舗対策について

■宮澤 孝司 議員

- ・民生委員児童委員について
- ・移住促進の取組について

■北村 薫 議員

- ・深川市の民生委員児童委員の定数について



きたむら かのる 議員
北村 薫
「公政クラブ」

防災訓練の実施について 防災総合訓練の実施を予定

Q 深川市地域防災計画では、災害時の応急対策を円滑に進めるため、関係機関や住民への防災知識の普及を目的とした防災訓練の実施が定められている。防災訓練の具体的な実施計画や予定を伺う。

A 令和7年10月に大規模な地震を想定した深川市防災総合訓練の実施を予定しており、地域住民の防災意識の向上や、防災関係機関と住民の協力体制の確立を目的に、緊急避難や誘導訓練、ヘリコプター救出訓練などの実施を想定しています。被害を最小限に抑えるためには、日頃の備えと迅速な対応力が不可欠であることから、今後も深川市地域防災計画に基づき計画的に訓練を実施していきます。

除排雪オペレーター
―養成事業の拡充―
Q 市では除排雪オペレーターの人手不足を受け、除排雪オペレーター養成事業助成を行っているが、

現在助成対象となっていない期間雇用者についても対象に含めることができないか、市の見解を伺う。
A 現在の助成要綱では、通年雇用者のみが助成対象となっていますが、高齢化やオペレーターの人員不足などは喫緊の課題であり、通年雇用と同様に

に事業者を支援する取組は重要と認識しています。新規に除排雪オペレーターとして就労しやすい環境を整えるため、事業者からオペレーターの養成に関する要望や意見を集約するとともに、他自治体の事例も参考にしながら前向きに検討を進めます。

深川市地域防災計画：市HP



平成29年に実施した防災総合訓練の様子

広報編集委員が変わりました

委員の任期満了に伴い、広報編集委員を新たに選任しました。

市議会だよりは、市議会の活動状況を広く市民に周知し、市議会に対する市民の理解を深めるとともに、市民に開かれた市議会の推進に資することを目的に発行しています。

委員の任期は2年で、今号が新委員の編集による最初の市議会だよりになります。



■委員長	有働 正夫			
■副委員長	山本 時雄			
■委員	北村 薫	新田 旺	佐々木一夫	
	松原やす子			

ー委員長挨拶ー

このたび、広報編集委員長を仰せつかりました。どうぞよろしくお願いいたします。

今のところ作物は順調に生育しているようであります。本年の出来秋を大いに期待したいところであります。

さて、今定例会では10人の議員が市に対して建設的、また厳しい指摘を含めた一般質問を行いました。市議会の様々な情報を少しでも多く、市民の皆様にお伝えできるよう丁寧な編集を心がけてまいります。

広報編集委員長 有働 正夫

- 正式な会期日程は、直前の議会運営委員会で決定されます。詳しくは深川市議会事務局へお問い合わせください。
- 本会議は、いずれの日程も傍聴することができます。当日、市役所4階の議会事務局で受付しております。

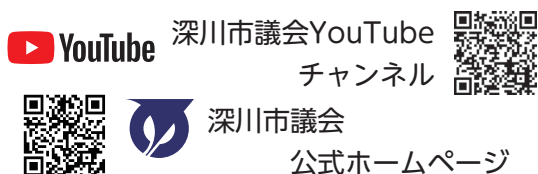
26 (金)	22 (月)	19 (金)	18 (木)	16 (火)	12 (金)	11 (木)	10 (水)	9 (火)
本会議 4日目	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会	常任委員会	常任委員会	本会議 3日目	本会議 2日目	本会議 1日目



9/9～9/26(18日間)
時間はいずれも午前10時～

問合先：深川市議会事務局内

〒074-8650 深川市2条17番17号
電話0164-26-2282 (直通)



過去の市議会だよりは
HPで御覧いただけます。

